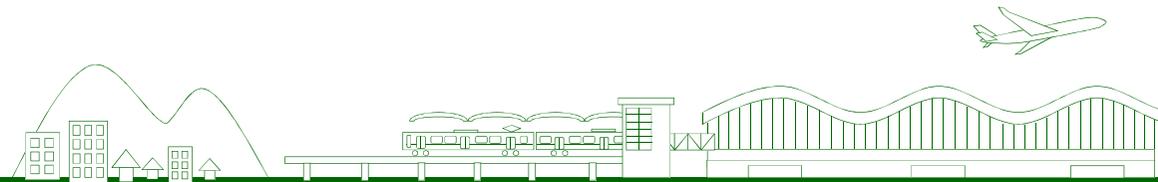


# 仙台空港民営化について

平成30年11月2日  
宮城県土木部空港臨空地域課



# 1-1 仙台空港の概要

- ・ 東北唯一の国管理空港であり，海外4都市，国内10都市へのネットワーク
- ・ 国管理空港初の民間による一体的運営（平成28年7月1日から）
- ・ アクセス鉄道でJR仙台駅と直結～乗換なしで最速17分
- ・ 東北の航空貨物の拠点（エアカーゴターミナル併設）

## 【仙台空港】

- 設置管理者：国土交通大臣
- 運営権者：仙台国際空港株式会社
- 空港法上の種別：拠点空港
- 所在地：宮城県名取市，岩沼市
- 面積：238.62ha
- 滑走路：2本（1,200m，3,000m）
- 運用時間：7:30～21:30（14時間）
- アクセス：アクセス鉄道でJR仙台駅に直通  
仙台空港ICから約4km
- 旅客ターミナル：地上4階建，面積43,530㎡
- 貨物ターミナル：国際貨物棟，燻蒸庫 ※H25.6完成

## 【仙台国際空港(株)(SIAC)】

- 設立：平成27年11月2日
- 資本金：42億4,900万円
- 株主：東京急行電鉄(株)，前田建設工業(株)，  
豊田通商(株)，東急不動産(株)，  
(株)東急エージェンシー，東急建設(株)，  
(株)東急コミュニティー

## 【仙台空港鉄道(株)(SAT)】

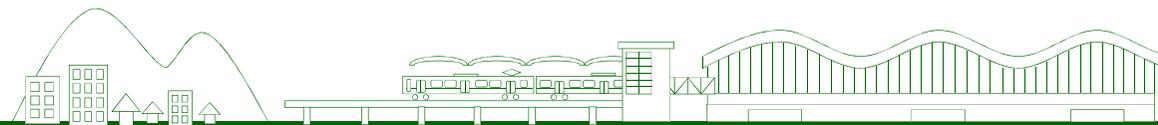
- 設立：平成12年4月7日
- 開業：平成19年3月18日
- 資本金：71億2,900万円
- 主な株主：県，仙台市，名取市，岩沼市，JR東日本，地銀等



都市名	便数
札幌	14往復/日
成田	2往復/日
小松	2往復/日
名古屋(中部)	5往復/日
大阪(伊丹)	15往復/日
大阪(関西)	3往復/日
神戸	2往復/日
出雲	1往復/日
広島	2往復/日
福岡	7往復/日
那覇	1往復/日
合計	11路線54往復/日

都市名	便数
ソウル	7往復/週
上海/北京	2往復/週
台北	13往復/週
合計	3路線22往復/週

※仙台空港には羽田線がない。



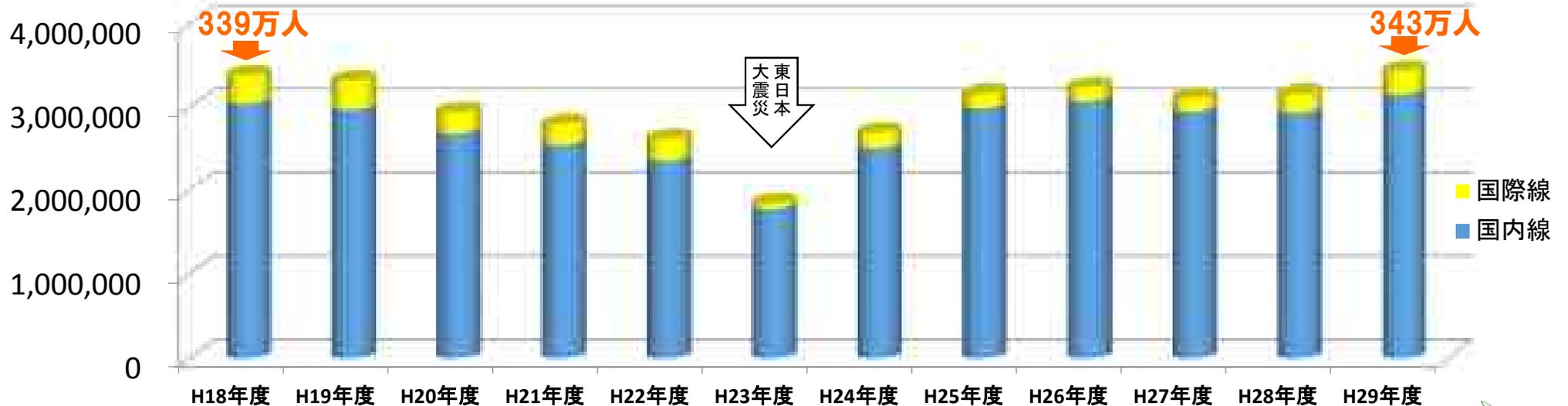
# 1-2 仙台空港の旅客動向

- ・仙台空港の旅客数は世界的な経済不況等により平成20年度以降大きく減少
- ・震災の影響を受けた平成23年度は定期路線の長期運休により185万人まで減少
- ・平成29年度は、約343万人が利用。5年連続300万人を突破するとともに、過去最高を記録

【仙台空港旅客数の推移】

(単位：人)

年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
国内線	3,047,955	2,973,505	2,686,360	2,552,515	2,363,415	1,776,717	2,513,227	2,989,413	3,072,541	2,954,079	2,937,046	3,158,572
国際線	339,508	349,621	260,705	246,385	258,872	69,246	186,421	175,202	167,029	160,169	225,551	280,667
計	3,387,463	3,323,126	2,947,065	2,798,900	2,622,287	1,845,963	2,699,648	3,164,615	3,239,570	3,114,248	3,162,597	3,439,239
対前年度比	104.4%	98.1%	88.7%	95.0%	93.7%	70.4%	146.2%	117.2%	102.4%	96.1%	101.6%	108.7%



※出典：国土交通省「空港管理状況調書」



# 2-1 東日本大震災による被災・復旧状況

- ・平成23年3月11日14時46分東日本大震災発生・15時56分津波襲来。(津波の高さ3.02m)
- ・空港全体にがれき・車輛が流入。旅客ターミナルは1階が水没。貨物ターミナルの国際貨物棟は火災により全焼。
- ・アクセス鉄道は、仙台空港駅及び空港トンネルを中心に甚大な被害。



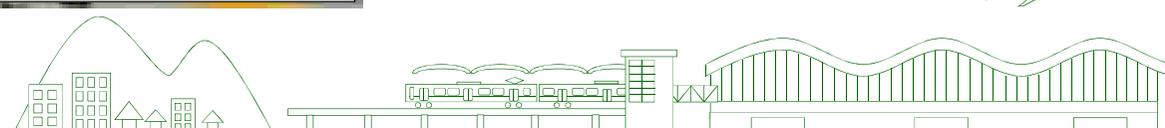
- ・平成23年4月13日 国内臨時便運航再開
- ・平成23年9月25日 空港ビル完全復旧, 国際定期便再開

- ・平成23年7月25日 国内定期便・国際臨時便再開
- ・平成23年10月1日 アクセス鉄道全線運行再開



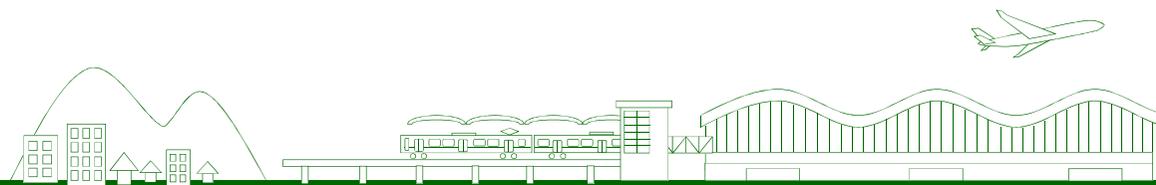
### 国際定期便の運航再開経過

- ソウル便 H23.9.25~ (H24.5.21~デイリー)
- グアム便 H23.10.2~
- 台北便 H23.10.30~
- 上海/北京便 H24.3.25~
- 大連/北京便 H24.3.27~
- 長春便 H24.7.30~



### 宮城県が考える「創造的な復興」とは

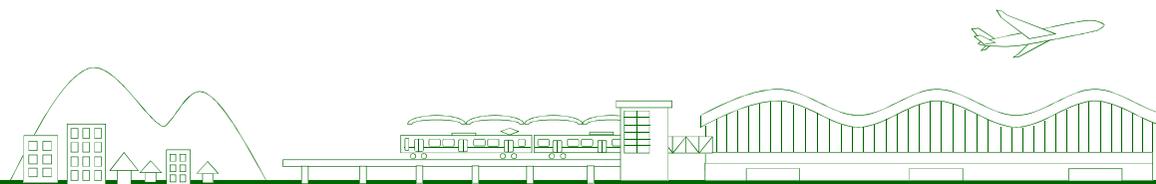
- 震災を経験したからこそ成しえる事業
- 全国モデルとなるような事業
- 民の力を最大限に活用して、震災復興計画終了後のランニングコストを極力発生させない事業



## 2-3 創造的復興の具体例

- 37年ぶりの**医学部新設**（東北医科薬科大学医学部）
- 漁業権を民間に開放する**水産業復興特区の導入**
- 過疎化・高齢化が進む**被災地でのスマートシティ形成**
- **上・工・下水3事業一体によるコンセッションの活用**
- 世界最先端の研究施設である**東北放射光施設の誘致**
- **仙台空港の民営化**

など



# 3-1 仙台空港民営化の経緯

## 地域が抱える課題

- 東北地方の定住人口が大幅に減少
  - ▽ 平成57年の東北の定住人口は現在の3分の2近くまで減少（減少率は全国最大）
  - 「**交流人口の拡大**」で補うしか打開策なし

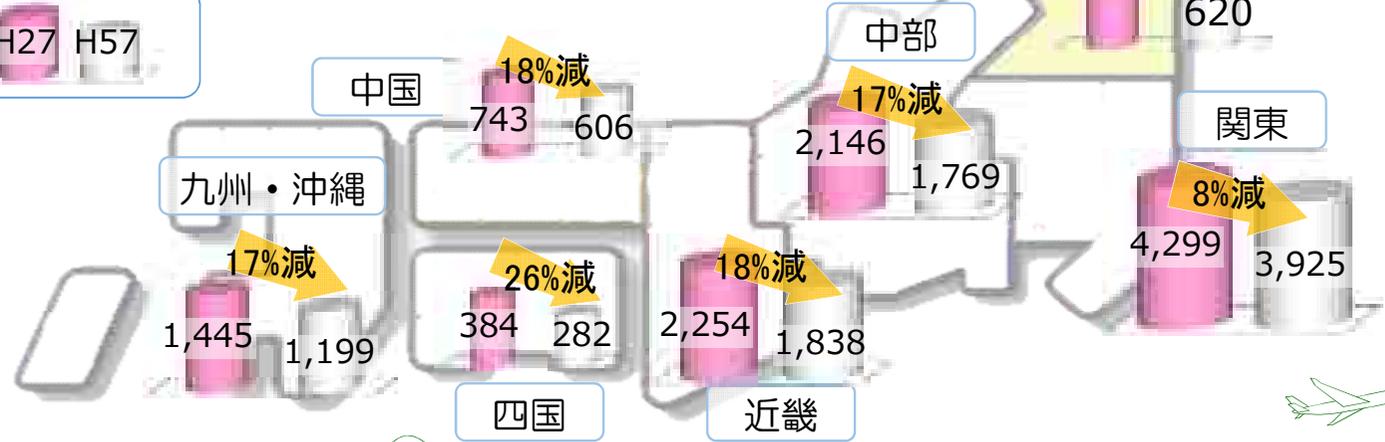
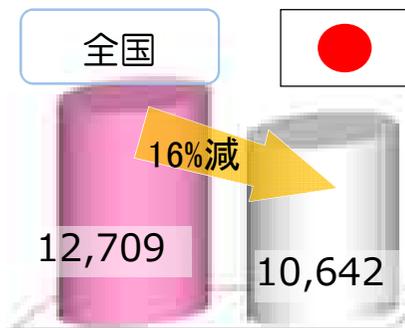
【東北の将来人口推計】

年	H27	H37	H47	H57
人口	898万人	818万人	724万人	<b>620万人</b>
H22比	—	▲9%	▲20%	<b>▲31%</b>

仙台空港民営化  
検討段階での  
将来人口推計  
H22→H52 ▲27%  
(東北地方)

地域別将来人口推計（万人）

H27 H57



出典：国立社会保障・人口問題研究所

「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」